

今後の進め方

令和8年度のワーキングチーム編成について（案）

継続設置

■赤穂線WT

<メンバー>

岡山市、備前市、瀬戸内市、岡山県、JR西日本岡山支社
（オブザーバー）備前県民局、兵庫県西播磨県民局、赤穂市

■姫新線WT

<メンバー>

津山市、新見市、真庭市、美作市、勝央町、岡山県、JR西日本岡山支社
（オブザーバー）備中県民局、美作県民局、兵庫県西播磨県民局

■因美線WT

<メンバー>

津山市、岡山県、JR西日本岡山支社
（オブザーバー）美作県民局

第9回全体会について（案）

○開催時期 令和8年度上半期

○議 題 各ワーキングチームの活動状況報告

各団体の利用促進の取組状況報告

その他

【参考】令和8年度県予算について①

地域公共交通利用促進事業 <予算額> 29,695千円

<概要>

各種広報媒体を活用し、公共交通の良さや大切さなどをPRし、公共交通に対する関心を高め、利用への機運を醸成するとともに、キャンペーン事業を通じ、公共交通に対する興味や関心を喚起する。

また、JR在来線の活性化を図るため、岡山県JR在来線利用促進検討協議会において、県、市町村及びJRが連携して、利用促進策を検討、実施する。

<ポイント>

- 1 公共交通全体の利用促進に面的に取り組むため、JR在来線やバス等を含めた公共交通全般を対象とする。
- 2 JR在来線各路線ワーキングチームの予算を各2,000千円計上（令和7年度と同額）



【参考】令和8年度県予算について②

地域公共交通維持確保支援事業（重点支援枠）

＜予算額＞52,845千円（通常枠含む）

市町村（政令市は除く）又は複数の市町村等で構成される団体が実施する対象事業に要する経費に対して補助を行う。なお、広域で連携して新たな事業に取り組む市町村に対しては、補助額を倍増する。

事業区分	補助対象経費	補助率・補助 上限額（千円） 下段は広域連携の場合
(I) 地域公共交通計画策定支援事業	・ 地域公共交通計画の新規策定	2,500（1/2） 5,000（1/2）
(I) 鉄道利用促進事業	・ 鉄道の利用促進に係るもの （環境改善事業を除く）	2,500（1/2） 5,000（1/2）
(I) DX推進事業	・ 地域公共交通のDXの推進に係るもの	2,500（1/2） 5,000（1/2）
市町村ごとの補助上限額		5,000 7,500